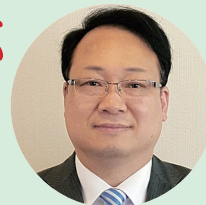


オリニ主日
説教

現代の子供たちにも必要な幾千代にも及ぶ 祝福の契約、子供たちに繰り返し教え

<申命記5章10節／6章5～9節>

金明均 牧師（教育委員長／名古屋教会）



現在コロナ禍において、大人のみならず子供達もストレスを多くかかえています。感染予防対策として、マスク・手洗い・うがいはもちろん、部活の活動制限など、友達とも以前のように遊べなくなっています。コロナにかかったら、いじめられるのではと言う心配から外に出る事も少なく、狭い室内で兄弟げんかやゲームで時間を過ごす事も増えてしまったようです。さて、20数年前の話ですが、妻の友人が大阪市の保育士をしていたのですが、その仕事で驚いた話をしてくれました。保育園ではお弁当の日もあるそうです。しかし、まずお弁当の作り方を母親に教えなければならない、と言うのです。保育士が担当する貧困地域は、園児の親も、貧困・育児放棄などの家庭で育ち、自身もお弁当を作って貰った事がなく、作り方がわからない親もいるからです。当時もコンビニ弁当はありましたが、何か食べて生活しているはずの家庭の親が、お弁当を作れないという事の想像が出来ませんが、どう作れば良いかわからないというのです。貧困や育児放棄を相続する親がいるように、暴力や虐待を受けた子供たちは、自分はそんな親になるものかと思いつつも、その連鎖は三代続く事もあり、70%近くが虐待を相続してしまっていて、そのうち日本だけでも、年間60人程の子供たちが虐待死しているそうです（日本子ども支援協会2020.07.21）。

このようなコロナストレスや悪い連鎖相続の中、現代の子供たちにも必要な、幾千代にもわたる祝福の契約が、申命記に書かれています。しかしそれは新約の時代に、神を愛することと人を愛することの、大きく二つにされました。それを行い、子供たちに伝えていくのですが、それは現代において、具体的にどのようにお弁当を作ったら良いかわからない、と、同じ状態にあるのかも知れません。韓国でユダヤ人の子育て本が10年ほど前に流行りました。それは韓国の受験社会にあきあきした親たちもこぞ読んでいたようです。しかし律法学者のように細かな律法を守っていても、一番大切にされている神様の愛の律法を守れないなら、具体的な細かな律法を守る必要はないように、子育ては神様の愛の概念に基づいて、時には柔軟に対応されなければなりません。パウロが、善を行おうと願っても出来ないのは罪の為である、と言っているように、私達大人も、神様の助けなしには何も出来ません。親たちは出来ない事を子供に押し付けたりやらせたりするのでなく、共に成長していかなければならないのではないのでしょうか。しかしストレスは私達大人にもあり、経済的心配に至っては子供たちより深刻

です。模範や良い相続、信仰の連鎖をさせたいと思いつつ、感情的に怒られたり、反対に褒められてばかりで叱られる経験が少なく、いじけたり落ち込んだりさせてしまい、効果的に物事を教える事が出来ません。褒める所は褒め、叱る時は叱る。本文の申命記にも、十戒において、すべきこと、またしてはいけないこと、があるように両方を教えなければならないのです。

子供たちの貧困や育児放棄、虐待は子供たちの問題ではなく、その家族や信仰の家族である教会の私達大人の社会が考えなければならない課題であり、それが連鎖しやすい事を考えれば、神様の祝福の契約が、幾千代もの連鎖に及ぶことのすばらしさを知る私達が、繰り返し教えていかなければならないとわかります。

最近売れている絵本の「はく モグラ キツネ 馬」の中で、「今迄にあなたが言った中で、一番勇敢な言葉は？」という問いに対して「たすけて」と答えるのですが、大人たちも、弱く貧しく見られたくない、育児放棄を知られたくない、でも助けてほしいなど、勇気がなくては「たすけて」が言えません。「助けを求めることは諦めるのとは違う、諦めない為にそうするんだ。」の言葉も出てきます。私達クリスチャンも、希望を失望にされない主に向かって、諦めずに祈り続ける必要を思われます。また「一番強かったのはいつ？」の質問には、「弱さを見せることが出来た時」と答えています。私達も、自分を明け渡し、主の前に降参した時、弱みを見せた時、「弱い人間しか神なんか信じない」という間違った強さをおろした時、主のご介入、御業を見ることが出来ると信じます。私達親が弱さを知り助けを求めて祈り始めるように、主を信じる者は祝福の連鎖を相続させる事の大切さを感じます。「助けて」を言える環境を作り、それを主に向けていくことです。「どうしたの？」と声をかけて、ストレスを口に出せるように気を配ったり、話を聞き、主にある解決、答えを親が先に言うのではなく、子供自身が自分から道、真理、いのち、答え（神様）を見つけたかのように導き、どうしていったら良いか一緒に祈ろうと手を握ってあげましょう。

申命記6章5節「あなたは心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。」幾千代にもわたる祝福の契約は、現代においても有効です。エペソ1章18節「聖なる者たちの受け継ぐものがどれほど豊かな栄光に輝いているか悟らせてくださる様に」願い、ただ主の恵みである祝福をいただき、それを継承、連鎖していきましょう。

ルツ結婚相談所

在日韓国人・帰化人、結婚・再婚を望んでいる人へ
年齢 23歳～70歳まで、北海道から九州まで

親身になってご成婚までねばり強くお世話を
させていただきます。お気軽にお電話ください。

090-3429-9707 代表 崔貞淑

韓日対照讃頌歌販売



韓国の新讃頌歌版です。交読文も韓日対照で掲載されています。

●B6版変型・1483ページ

●価格：2,500円（消費税・送料込み）

※お求めは総会事務所へ

麦仁道牧師召天20周年特集

父、麦仁道の20周忌を迎えて

マッキントッシュ・デイビット

6月7日は、父 麦仁道（メク・インド）の命日です。今年で20周忌となります。40年の牧師生涯を在日大韓基督教会の兄弟姉妹と共に歩んだ麦仁道と、母麦仁寿（メク・インス）のことは、今でも多くの方が覚えていてくださいますが、彼らを知らない方も増えたということで、この紙面をお借りして、母の近況も含めて書かせていただきます。

父は、信徒教育と青年宣教に熱意を抱く若い牧師として、神学校を卒業した1961年に、母とまだ一歳にならない私とともに来日しました。到着から一年以上、まず東京で日本語を、そしてソウルで韓国語の学習にはげました。ソウルから戻ると、京都教会に遣わされ、そこで妹ジャネットが生まれましたが、私に物心がつく頃には、もう大阪にいました。日曜日には、鶴橋駅近くにあった木造の大阪教会に通い、大阪女学院の一角にあった自宅では毎日のように牧師や長老、女性会の方や青年会のお兄さんお姉さんたちを迎えていた、そんな生活を覚えています。父も母も、皆に愛され、誰をも愛した様子で、どなたとも生き生きと会話し、よく笑って、祈っていました。

在日大韓基督教会における父の働きについては、彼とともに歩んだ教会の皆様が、また指紋押捺拒否の運動や彼の裁判については、その活動を支えた皆様が、私より正確に、思慮深く語ってくれるでしょう。一つ言えることは、仕事でも私生活でも、困難に取り組む時も、楽しいことをする時も、一生懸命でした。心臓病を患い、二度の手術を終えた後も、ペースは若干落ちましたが、「一生懸命」の姿勢が変わることはありませんでした。彼をいつも義に向けて歩かせたのは、難しい哲学や理論ではなく、キリストと教会の兄弟姉妹から学ぶ「愛」と、スポーツで言う「フェアプレー」だった、そんな気がします。彼がもっとも愛した聖句は、ミカ書6：8でした。

2001年6月、40年の宣教師生活を終えてカナダに帰った3カ月後、ちょうど両親の隠居生活がこれから始まろうとするその

時に、身体の容態が悪化し、残念なことに亡くなりました。亡くなる数日前には、医者からのアドバイスをきかずに車椅子でカナダ長老教会の総会に参加し、力を振り絞るようにして、「信徒のない教会は、教会ではない」とのメッセージを届けました。信徒教育・信徒リーダーシップに熱意を抱いて日本に向かった、その時の原点に戻ったようでした。

私は間に合わなかったので、後にビデオを観て知ったのですが、父が亡くなる前の夜に、在日韓国人とカナダの友人に囲まれて彼の病室で短い聖餐式が行われました。これを終えて皆が部屋を去るときに、父は二つの言葉をかけていました。「Love one another」（愛しあいなさい）、そして「You're now part of the subversive Gospel」（あなたは今や、転覆の福音のものだ）。父が好きだった野球の表現を使うなら、一つ目の言葉はストレート、二つ目は変化球でしょうか。本人にその意味を確認することはできませんでしたが、きっと「不義の転覆に努力しましょう」と言うことなのでしょう。この言葉を今日思い出しながら、在日大韓基督教会の皆様と、マイノリティ宣教センターを支える皆様とともに「転覆」の歩みに励めることを感謝します。

最後に、85歳になった母は、現在バンクーバーのリタイアメント・ホームで、近くに住む二人の妹ジャネットとグインに見守られながら、元気に生活しています。目・腰・心臓・記憶などには歳相応の衰えがありますが、人好きの明るい性格は、同じです。可能なら是非、コロナ危機が過ぎたら、また日本に来てもらいたいと考えています。それが可能となるように、どうぞお祈りください。



福音新聞2001年7月号記事から

在日同胞と共に40年間を歩んだ麦仁道牧師が召天

第127回カナダ長老教会総会が去る6月3～8日にトロントのヨーク大学にて500余名の総代の参加のもと開催された。

本総会からは総会長金徳化牧師、副総会長金鐵斗長老、全国女性会会長鄭静子勲士等5名が参席した。

我々一行の懇切な祈りは、危篤な状態で入院中であった麦仁道牧師が、総会期間中の5日に予定されていた隠退式で本総会が準備した感謝牌と慰労金を伝達する際に出席できるよう願うものであった。

5日には、順序に従い本総会代表一行が紹介され歓迎を受けた後、総会長の挨拶がカナダ長老教会の総会長であるデイビス牧師の通訳によってなされた。

我々の祈りが応えられたかのように、総会会場には車椅子に座った麦仁道牧師が登場し、全総代員からの熱烈に歓迎を受け、感謝の中で隠退式が挙行された。本総会の感謝牌が伝達され、女性会長の挨拶と礼物贈呈があった後、麦仁道牧師が10分程度の感謝の挨拶を述べた。麦仁道牧師が会場を離れる際には全会衆の拍手が鳴り止まなかった。総会期間中のハイライトだったと皆が口を揃えて言っていたという。

我々一行はその足で麦仁道牧師と一緒に病院へ向かい、デイビス牧師夫妻、アンダーソン牧師夫妻と共に麦仁道牧師の願望であった聖餐式を厳粛に挙行してから戻ったのだが、7日の朝、宿所にて麦仁道牧師が明け方4時20分に召天されたとい

う連絡を受けたのであった。我々は驚きと寂しさを抱えたまま病院に駆けつけ、遺族に慰めの言葉をかけた。

8日の前夜礼拝は、ノックス長老教会にて金徳化牧師の司式と説教、金鐵斗長老の祈禱とデイビス牧師の祝祷によって挙行された。麦仁道牧師の遺体には、留学中の鄭守煥伝道師が16日の結婚式の司式の際の衣装としてあつらえてきた韓服が着せられ、麦仁寿師母も韓服を着た。

9日午後の告別式では、デイビス牧師の説教と民族衣装であるチマチョゴリを身につけたトロント韓人長老教会聖歌隊による詩篇23編の「主はわが牧者」などの讃美がなされ、差別されるマイノリティ韓民族の苦難に生涯にわたって寄り添い続け、その青春を燃やした麦仁道牧師を追悼した。

麦仁道牧師の顔は明るく微笑んでいて静かに眠っているように見えた。遺言に従い火葬された遺骨は5ヶ所に分骨され、故郷であるGulfeとトロント韓人長老教会と大阪KCC、西南KCC、そして長野県野尻湖の別荘の周囲に撒かれることになった。

麦仁道牧師はこの地上での善き闘いを闘い抜き去っていったが、その信仰を通して今後の世代に対しても語り続けるだろう。そして彼によって蒔かれた愛の種は芽を出し、実を結ぶだろう。我々は彼を忘れることができないし、忘れてはならない。神の慰めと平和が、麦仁寿師母と長男David、長女Janette、二女Mira（養女）、三女Gwyneth 家族の上に、彼を愛し別れを惜しむすべての人の上にあることを祈る。

麦仁道牧師任、安らかに眠ってください。（報告：金徳化牧師）

福音新聞2001年7月号記事から

カナダ留学中の鄭守煥伝道師からの報告

四十年もの長い間を在日同胞と共に歩まれたジョン・マッキントッシュ牧師が6月7日の早朝4時、天に召された。

マッキントッシュ宣教師は引退の年を迎えられ故国カナダに本年の3月22日に帰国された。日本を離れたときからマッキントッシュ牧師の健康状態はよくはなく出発直前に大阪で入院、トロントに到着された後も三度の入退院を繰り返されていた。

その闘病生活の間もマッキントッシュ牧師は夫人のクラブス宣教師と、在日同胞とともに闘った四十年にわたる宣教活動を『韓国日報』(カナダ版5月7日)やラジオインタビューにおいて熱く語られた。また「日本歴史教科書歪曲問題」に

ついて在カナダ韓国人協会の方々との懇談会(5月23日)を、「在日」で現在はカナダに移民している金海天長老(トロント韓人長老教会)とともに企画された。

最後に御遺族からのメッセージをお届けする。

「神様のなされることはすべて美しく在日大韓基督教会の同僚者とともに最期の時を持てたことは感謝でした。ジョンは愛と喜びの言葉『信心深いこと、実り多いこと、感謝に溢れること、喜び、コミットメント、愛、平和』を、私たちの家族とまわりの人たちのために心からの祈りとしてこれらの言葉を残して深い眠りにつきました。これらの言葉にすべてを託して他に何も思い残すことはありませんでした。ですから私たちも平安な心で神様のところへ見送りました。神様に栄光と感謝を。『神のなされることは時にかなって美しい』(伝道の書3:11)」。

関西地方会

第72回定期総会を開催

地方会長に許伯基牧師選出



去る5月5日に第72回関西地方会定期総会が開催された。大阪府及び京都府に緊急事態宣言が適用される中、zoomを通じてのオンライン開催となった。全総代数75名中68名の出席という高い出席率で開催に至ったのはzoom形式によるところが多い。が、このオンライン開催のために、郵便投票とzoomの投票機能の両方を用いたハイブリッド選挙、オンライン会議に慣れない総代たちのための事前のリハーサル、報告書や関係書類の事前送付など、旧任員を中心とした準備担当者たちが、多方面にわたって心を砕いた。

任員の改選が行われ、その結果は次の通りである。

地方会長：許伯基牧師(京都南部)、
副地方会長：朴栄子牧師(豊中第一復興)、裴良一長老(京都)、
書記：金鍾権牧師(平野)、副書記：金忠洛牧師(堺)、
会計：森克之長老(大阪)、副会計：吉井秀夫(京都)。

その他、決算と予算、各教会から提出された長老増員請願などが決議された。また咸美羅伝道師(布施教会)の認許式が挙行された。コロナ禍の中でも知恵と新技術を用いて、滞りなく定

期総会を行うことができたことを、主に心より感謝したい。

(報告：許伯基)

5月号の訂正とお詫び

2021年5月号韓国語版の2面の見出しの名前が間違っておりまして、お詫びして訂正致します。正しくは「召喚令」でした。

全国教会女性連合会
定期大会開催延期のお知らせ

全国教会女性連合会は憲章第12条に沿って、定期大会を2年に1度開催し、役員選出、局長の承認を定めています。そのため、2021年6月に第63回定期大会を開催する予定でしたが、コロナ禍が収束せず対面式で開催するのは難しいと判断し、非対面式(リモート)で開催、あるいは延期すべきかを検討してまいりましたが、非対面開催となりますと、役員選出選挙において公正性・公平性を保持するのに大きな困難が生じることが予想されます。

そこで、委員会を重ね検討した結果、2022年6月まで定期大会を延期、また選挙に関しましても、定期大会延期に伴い現委員の任期を1年間延長することを決定いたしました。

定期大会延期に伴い、ご不便をおかけする点があると思いますが、どうぞ皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

会長 李炫知 総務 石橋真理恵

2021年度 宣教師・神学生研修会案内

在日大韓基督教会に加入する宣教師と、神学校を卒業し伝道師試験を受験するために研修会を実施します。

- ・日 時：2021年8月29日(主日) 17:00～9月4日(土) 13:00
- ・場 所：(講義・宿泊) 在日総会神学校(東京都足立区西新井本町4-5-1)
- ・履修科目：KCCJ神学・宣教理念、憲法・規則、在日同胞史、KCCJ歴史、日本教会史・神学、エキュメニカル神学、KCCJ牧会・礼拝・礼典・説教など、総会行政・年金・福祉など日本生活全般
- ・交通費・参加費(宿泊費)：総会が負担します。
- ・志願や詳細は総会事務局に問い合わせください。(総幹事080-4377-3927)

※合宿ですが、コロナ感染症の状況によってZoom研修会に切り替えることもあります。その判断は8月初の状況によります。

在日総会神学校 理事長 金日煥長老 校長 鄭然元牧師

公告 2021年度 牧師・伝道師考試及び宣教師加入考試

「2021年度牧師・伝道師考試及び宣教師加入考試」を以下のように実施します。詳細の案内と請願書などは総会のホームページ(<http://kccj.jp>)をご参照ください。

- 一. 日 時：2021年9月22日(水) 09:00～19:00
- 二. 場 所：在日大韓基督教会 東京教会
- 三. 申請(書類提出)：2021年8月20日(必着) 総会事務局まで

四. 提出先：総会事務局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-55

電話番号：(03) 3202-5398 FAX：(03) 3202-4977

神学考試委員会

委員長 金聖孝 書記 韓世一

(問い合わせTel090-1907-2613)

子どもの主日
特集

「神様に愛されている子供たちと共に」

大阪北部教会 牧野 順子



2019年聖誕節発表会

主のみ名を賛美いたします。

大阪北部教会 教会学校（以下CS）の歩みを写真でたどる時、多くの生徒や教師を懐かしく思い、今日まで神様の導きと、歴代の教師の奉仕によって継承されてきた事を感謝します。

私の教師としての奉仕は、十代後半の青年会時代に補助教師として始まりました。振り返りますと、数々の思い出が時を越えて鮮明によみがえってきます。特に当時の校長先生金榮植牧師任から頂いた「教師は小牧会者である」との言葉は、何とも恐れ多く印象深いものでした。純真な子供の心に全能の神様を語るといふ事が、どれほど責任の重い大切な事であるかを教えられました。恐れと同時に、こんなに弱い私をも神様を選んで、大切な子供を託してくださった事を誇りにさえ感じて、いよいよ謙遜に仕えたいと思ったものです。この言葉に支えられて今日まで長い間、教師を続けられた事と改めて感謝します。

現在CSでは礼拝、学年別に分級というプログラムを続けております。元気な子供たちですから賑やかすぎる時もありますが、注意するだけでなく、子供は今この時間をどう理解しているのか、相手側に立つ事で見えてくる事も多くあり、教師の課題を感じます。

時には厳粛な礼拝を体験して欲しいと、教会歴に従って、年に数回大人と一緒に合同礼拝に参加しております。礼拝の邪魔にならないようにと教師は緊張しますが、子供は心得ており、静かに礼拝をささげて周囲に感心されます。それは大人だけでなく子供にも向けた説教の配慮で、共に礼拝を捧げている事を自覚するのでしょうか。常に子供を肯定してくださる教会の姿勢に感謝の思いです。

また毎年夏の夏期学校は、子供だけでなく教師にとっても待ち遠しい行事の一つです。数年前から南港伝道所の子供たちも参加しています。殆ど初対面の子供たちで、ご家族は、子供を託すのに躊躇されたと聞きます。自宅を離れて生活する3日間、教師は父母になり、兄弟・姉妹になり、友達となり家族のように過ごします。

互いに教会とは違う新しい発見があり、初めてみ言葉を学

ぶ子供たちも、終日神様に触れる活動の中で積極的に賛美し、祈る事を覚えます。すっかり仲良くなった彼らが、帰りのバスの中で、早速来年の約束を交わしている様子に、教師は疲れを忘れます。子供の成長を保護者に顕著に感じてもらえる貴重な体験です。

成長に伴い学校や塾等で忙しく、CS欠席が続く子供や保護者には連絡をして予定を変更してもらい、教会に送って頂いた事も多々あります。

このように子供の信仰育成はCSだけでなく、家庭において、また教会全体の協力で為される教育と痛感しております。幸いに、教会全体が子供に温かい関心を持ち、惜しみない支援を下さっている事を嬉しく思います。

今後、大人へと成長する中で教会出席が困難になる事を懸念する時、「幼い時に蒔かれた信仰は必ず実を結ぶ時がくる」とおっしゃってくださった趙永哲牧師任の言葉が、大変心強く励ましとなっております。

難しい神学を教える事はできませんが、私は神様の愛と恵みを伝える事ができます。私が愛されて、恵みに満たされている事実を体験しているからです。「神は愛である」愛があれば神様はそこにおられます。「あなた方は神様に愛されている子供です」確信をもって子供の心に届けたい！と、祈りつつ、語りつつ、やがて実を結ぶその時を期待して種蒔きを行こうと思います。

長い教師生活の中で、腕白だった生徒が牧師へと導かれた喜び、親と子供という2代にわたる生徒達や、生徒が代々、教師になっている事を経験する時、CSの役割は確実に現在に継続していると感じます。

コロナ禍で、まだ自由に教会に来られない子供を思い、来られないならこちらから尋ねよう！とCSだよりを発行、郵送を始めました。礼拝に倣って牧師任のメッセージを中心に、コミュニケーション記事を載せながら一人一人の子供に心を寄せています。

現在4人という少数にもかかわらず、嬉々として奉仕している教師たちには、感謝しつつも負担は大きいものと案じておりました。その祈りに主が応えてくださり、2人の教師が与えられ感謝です。今年も主の導きに従い歩んで行きます。神様と共に。



大阪北部教会学校2001年度進級式

讃頌歌委員会より「子どもさんびか」が 発行されました。

主の祈り・使徒信条・交読文・十戒 集録
(いずれも韓国語・日本語)
一冊 1,000円
お問い合わせは総会事務局へ
電話 03-3202-5398



豊かな味、豊かな心。



妻家房
SAIKABO

代表取締役 吳永錫 (東京希望キリスト教会 長老)

四谷本店：東京都新宿区四谷3-10-25 Tel. 03-3354-0100